

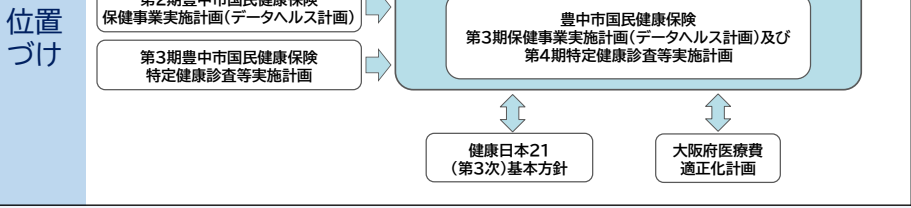
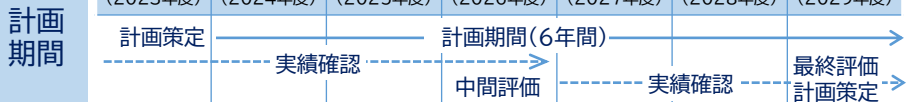
豊中市国民健康保険 第3期保健事業実施計画(データヘルス計画) 及び 第4期特定健康診査等実施計画

【概要版】

「保健事業実施計画(データヘルス計画)」はデータ分析に基づく保健事業の実施内容やその目的・目標を、「特定健康診査等実施計画」は保健事業の中核をなす特定健診・特定保健指導の実施方法や目標等をそれぞれ定めたものです。

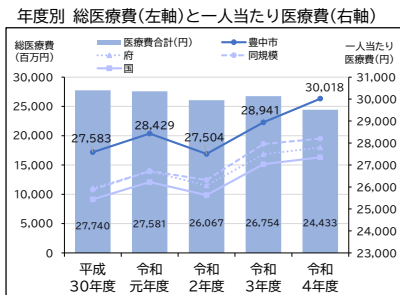
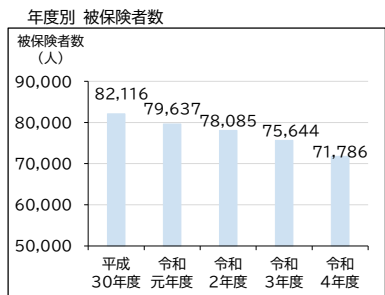
過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、今期より「データヘルス計画」と「特定健康診査等実施計画」を一体的に策定し、より効果的・効率的に保健事業を実施します。

目的 被保険者の生活の質(QOL)の維持・向上、健康寿命の延伸、医療費適正化



豊中市の現状

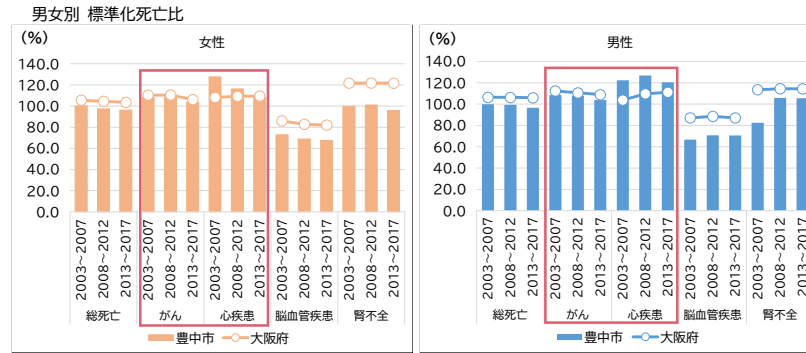
01 被保険者数と医療費



豊中市の被保険者数は減少傾向

一人当たり医療費は増加傾向で、府や国・同規模と比較して高い

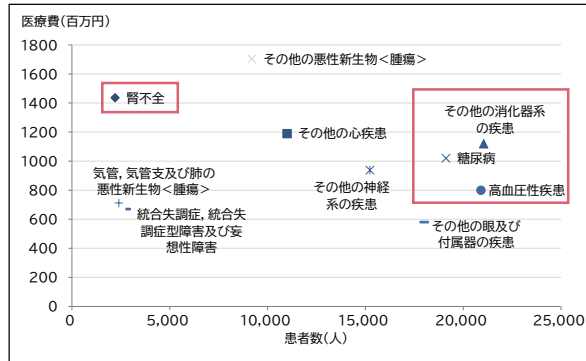
02 死因



標準化死亡率は総死亡が低く、がんや心疾患で高い傾向にある

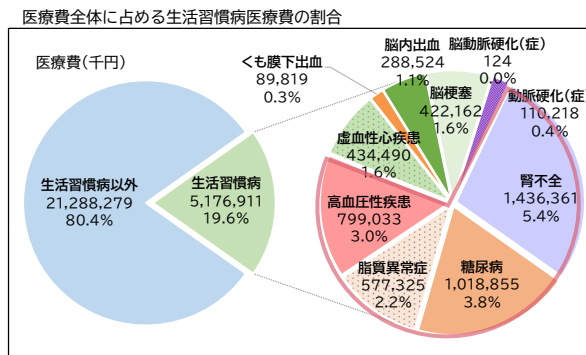
03 疾病別医療費統計

中分類による疾病別医療費統計



「腎不全」は患者数が少ないものの医療費が大幅に高い
「その他の消化器系の疾患」「糖尿病」「高血圧性疾患」は医療費が高く患者数も多い

04 生活習慣病医療費の割合



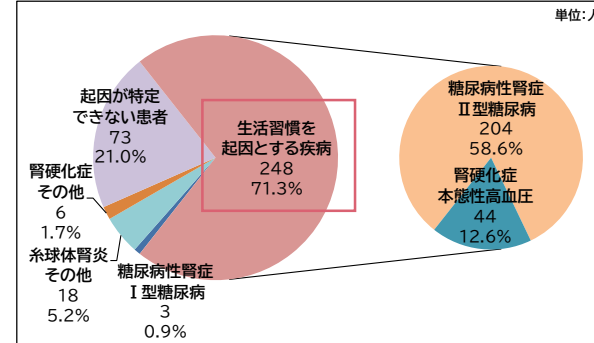
医療費全体のうち、約20%を生活習慣病が占める
生活習慣病医療費では、「腎不全」「糖尿病」「脂質異常症」「高血圧性疾患」が多くを占める

05 透析の状況

区分	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者の割合(%)
豊中市	71,786	277	0.39%
府	1,915,162	6,561	0.34%
同規模	6,100,161	21,681	0.36%
国	27,519,654	89,372	0.32%

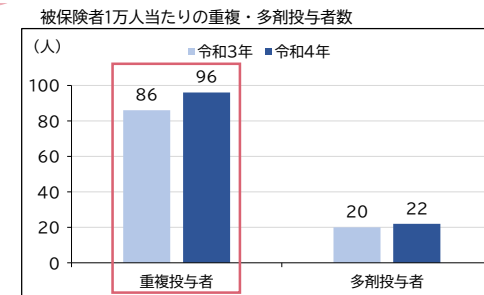
透析患者の割合が、国・府・同規模と比較してやや高い

透析患者の起因



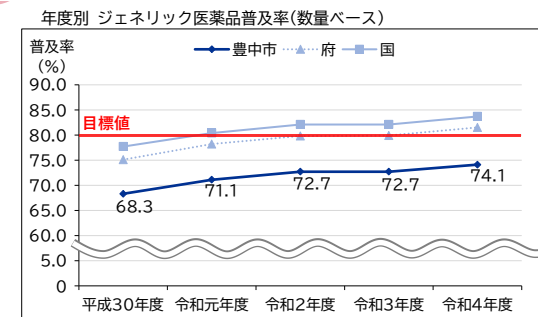
透析患者のうち生活習慣を起因とする疾病の割合が約71%、内訳は糖尿病性腎症が約59%、高血圧による腎硬化症が約13%である

06 重複投与者・多剤投与者



重複・多剤投与者数が微増傾向である

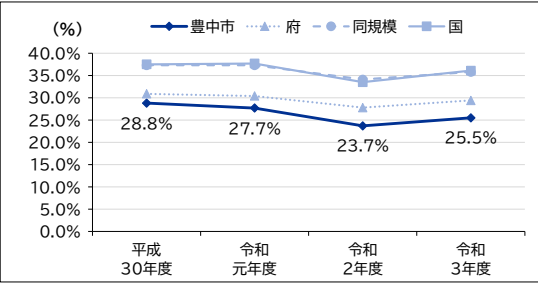
07 ジェネリック医薬品



ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)は増加傾向だが、国の示す目標値80%には及ばない

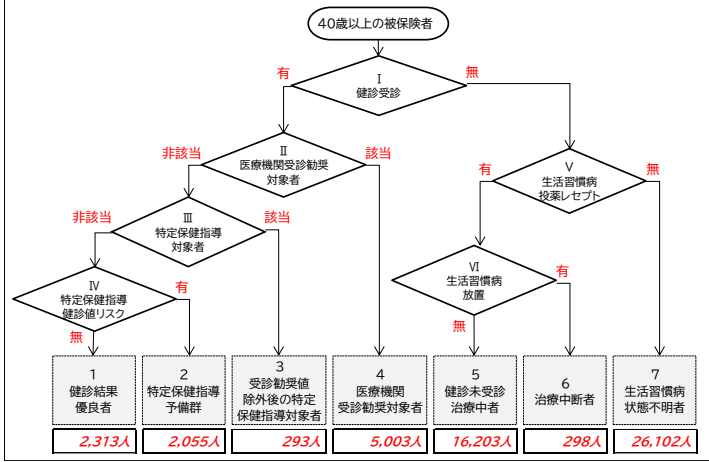
08 特定健康診査

年度別 特定健康診査受診率



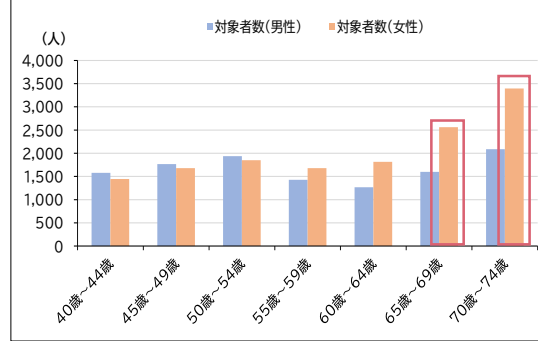
特定健康診査受診率が、国・府・同規模と比較して低く推移

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



医療機関受診勧奨対象者が5,003人
健診未受診者のうち、生活習慣病治療中者が16,203人、
健康状態不明者が26,102人

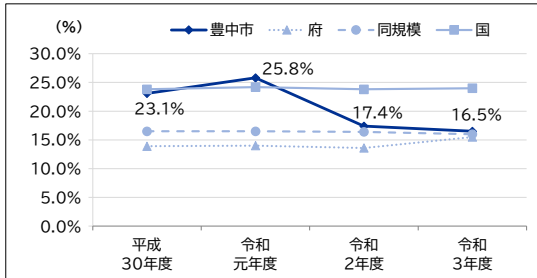
男女年齢別 生活習慣病状態不明者数



健康状態不明者を性別・年齢で比較すると、
65歳以上の女性が多い

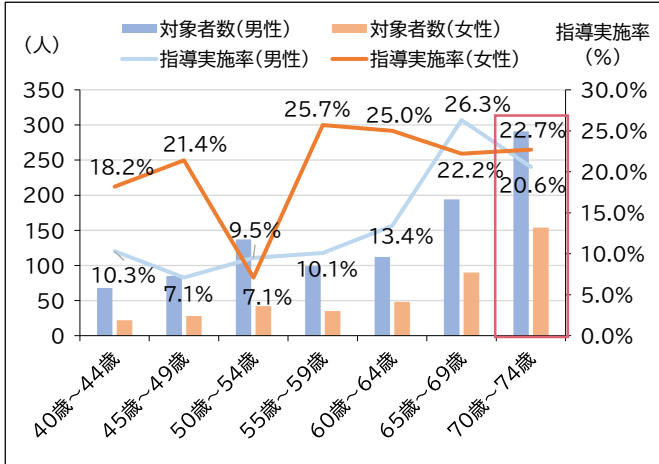
09 特定保健指導

年度別 特定保健指導実施率



特定保健指導実施率は府・同規模と比較し大幅に高く推移していたが、平成30年度と比較すると令和2年度以降は約6~7ポイント下がった

男女年齢別 特定保健指導対象者数・指導実施率



特定保健指導の対象者数は、男女ともに70~74歳が最も多く、指導実施率は男性に比べて女性のほうが高い傾向にある

健康課題・保健事業と目標

主な健康課題/ 計画全体における目的	優先順位	対応する保健事業	評価指標	計画策定時実績 令和4年度	目標	
					中間評価時	最終評価時
					令和8年度	令和11年度
生活習慣病の早期発見・ 早期治療による重症化予防	①	特定健康診査事業	特定保健指導対象者の減少率	16.4%	上昇	上昇
			健診受診対象者に対する勧奨率	100%	100%	100%
		特定保健指導事業	特定健康診査受診率	26.7%	45.0%	60.0%
			特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	22.8%	上昇	上昇
			特定保健指導実施率	17.9%	45.0%	60.0%
健診異常値放置者受診勧奨事業	異常値放置者割合	4.6%	減少	減少		
	対象者の医療機関受診率	14.7%	17.0%	20.0%		
糖尿病性腎症重症化予防事業	新規透析導入者数	30人	減少	減少		
	指導対象候補者の指導実施率	14.1%	17.0%	20.0%		
医療費適正化のための適正受診・適正服薬	②	受診行動適正化指導事業	重複投与者指導対象者適正化率	66.1%	68.0%	70.0%
			多剤投与者指導対象者適正化率	27.6%	29.0%	30.0%
		ジェネリック医薬品普及促進事業	重複投与者指導対象者指導実施率	100%	100%	100%
			多剤投与者指導対象者指導実施率	100%	100%	100%
ジェネリック医薬品普及促進事業	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)	74.1%	78.0%	80.0%		
	対象者に対する勧奨率	100%	100%	100%		

レセプトデータ、健康診査データ等から生活習慣病の重症化リスクを有する被保険者を特定し、適切な受療や生活習慣の改善等の行動変容を促すことで、重症化を予防する。

医療費適正化のための適正受診・適正服薬

一人当たりの医療費が増加傾向。
重複・多剤投与者が微増傾向。
ジェネリック医薬品の使用割合が目標値に届いていない。

ジェネリック医薬品の普及啓発やお薬手帳の利用促進、服薬情報通知等により、医療費の適正化、医療資源の有効活用と薬物有害事象発生防止を図る。

第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第4期特定健康診査等実施計画【概要版】

発行日:令和6年(2024年)3月
編集・発行元:豊中市健康医療部コロナ健康支援課